

文京学院大学 学生とふじみ野市議会が連携 2021年締結の連携協定に基づき「議会報告会・意見交換会」を開催 空き店舗対策をテーマに、若者世代の視点を地域政策へ

文京学院大学（学長：福井勉）は、2026年6月24日（水）に、ふじみ野市議会（市民・都市常任委員会）との交流事業として、議会報告会および意見交換会を実施いたします。

本学とふじみ野市議会は、2021年5月に人材の交流および育成、大学図書館と議会図書室の相互利用、市議会の政策形成に関する連携などを目的とした包括的な連携協定を締結いたしました。以来、本学教員による地域福祉に関する講演や、市議会による本学図書館の活用など、双方の資源や知見を活かした実践的な交流を継続的に重ねています。

今年度は、官学連携のさらなる発展として「空き店舗対策」をテーマに設定し、実際の議会活動の場であるふじみ野市議会議事堂を会場として本事業を開催いたします。

■開催の背景と目的：地域課題「空き店舗対策」へのアプローチ

商店街の空き店舗問題は、全国的な後継者不足や経営不振、店舗の老朽化などを背景に、解消が難しい深刻な地域課題となっています。商店街が持つ「地域のにぎわい創出」や「防犯」といった多面的な機能の維持は、市民の豊かな暮らしのために非常に重要です。

これまでの連携実績と対話の積み重ねを活かし、今回は商店街の活性化や空き店舗対策の活動（「菓子屋ぶんぶん」への参画など）に実際に携わっている本学の学生が参加します。実際の議事堂という臨場感のある場で、学生の社会課題・政治への理解を深めるとともに、議会（市民・都市常任委員会）に対して若年世代の実践的な視点や意見を共有し、将来的な政策反映に繋げることを目的としています。

■ふじみ野市議会（市民・都市常任委員会）からのコメント

【前回の成果と今回のテーマ選定理由】

前回は、放課後教室でのボランティア経験を持つ学生から率直な意見を聴くことができ、それぞれの視点から見た課題を見出すとともに、市政への意見に反映させる活動に繋がりました。今回選定した「空き店舗対策」は、少子高齢化が進む中で商店街の役割を維持するために重要なテーマです。実際に空き店舗対策の活動をしている学生の皆さんと、活発な意見交換ができることを期待しています。

【本事業の位置付けと学生への期待】

将来を担う学生の皆さんと交流することは、お互いに貴重な機会です。議員との交流を通じ、社会問題や政治、身近な議会への理解が広がることを期待しています。委員会として、学生の視点から寄せられた行政への思いをしっかりと聴き、政策に反映できるよう努めてまいります。

■開催概要

日時：2026年6月24日（水）14時開始

会場：ふじみ野市議会議事堂（埼玉県ふじみ野市福岡1-1-1、ふじみ野市役所本庁舎4階・5階）

参加者：◇文京学院大学人間学部6名・卒業生2名（「菓子屋ぶんぶん」に携わった学生）

◇ふじみ野市議会 市民・都市常任委員会（計7名）

小林憲人 委員長/板倉篤 副委員長/古越孝子 委員/川島秀男 委員/近藤善則 委員/

原田雄一 委員/塚越洋一 委員

内容：①ふじみ野市議会市民・都市常任委員会による議会概要説明

②地域課題（空き店舗対策など）に関する学生発表

③議員との意見交換・ディスカッション

④議場見学 など

※当日は取材も承っております。ご希望の方は以下お問い合わせ先までご連絡ください。



【取材などお問い合わせ先】

文京学院大学（学校法人文京学院 法人事務局総合企画室）

担当：島田、三橋 TEL:03-5684-4713